

選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



松崎 貴久

(富山/82期)

状態は悪くないのに、流れに乗れてない。その辺がダメですね。何とか地元でそこをかみ合わせたい。今回は師匠(笹倉重治)の弟子が全員参加なんで、みんなで盛り上げないと。いつまでも小嶋さんにおんぶに抱っこじゃね。とにかく頑張るだけです。

宮越 孝治

(富山/82期)

(今期から)S級に戻って、スピード感とかを思い出せない状態だったんですけど、(7月)弥彦記念を走って思ったより余裕があるのかなと思いました。足りない部分も見つかったんで詰めていきます。最低、準決。決勝にも上がりたいですね。



中本 匠栄 (熊本/97期)

G2初参戦のウィナーズカップで5191着と2勝を挙げると、G1初参戦のオールスターでは4129着と好走した。武器のまくり、差しの切れには一段と磨きがかかった印象だ。準決でも目が離せない。



河村 雅章 (東京/92期)

航続距離があまり長くないので先行しての連がらみはないものの、十八番のまくりは破壊力がある。7月防府、8月弥彦の準決はともにまくって勝っている。混戦が予想されるレースは一発怖い。



山田 諒 (岐阜/113期)

6月に特別昇級を達成。まだS級では2場所しか走っていないが、7月富山191着、同月名古屋242着と予選、最終日は連を外していない。今シリーズは初のG3参戦。どこまでやれるか注目したい。

S級ブロックセブン

9/1 (最終日) 6R

ブロックセブンとは

「推理しやすい、わかりやすい、的中しやすい」をコンセプトにした、競輪独特の「地区」の色合いをより濃く打ち出したS級7車立ての新たな単発レース。

東が抜け出すか。松岡孔明、國村洋の西勢も虎視眈々と勝機を窺う。松岡に落車の影響がなければ一発怖い。

機動力重視で伊藤裕貴を本命に推す。7月小松島記念で2勝した後は大きな着が続いていて乱調だが、地元での大一番である9月松阪共同通信社杯までには是非でもきつかけをつかみたい。タイミングを逃さずダッシュ良く出切つての押し切りを期待。伊藤には佐野梅一が続く。

高木翔、東龍之介、川口満宏の東ラインも強力で、番手有力な東を本命視する手も。高木はまくりのイメージが強いが、8月西武園記念の負け戦では押さえ先行で2周近く駆けて2着に粘っている。ここもライン3車なら積極策に出そう。タテヨコしっかりした

伊藤裕貴が
巻き返す



伊藤 裕貴